

平成24年度 伊豆市立湯ヶ島小学校グランドデザイン

校訓(明治28年制定): **勤勉 誠実 勇気**
 学校教育目標(井上靖寄贈詩): **「地球上で一番清らかな広場」をめざして**

人間力(めざす子どもの姿)
 しっかり聞いて、考えを伝えられる子
 自分を大切に、他につくす子
 目標をもって挑戦する子

数値目標(括弧内は平成23年度実績)
 勉強がよく分かる児童55%(49%)
 ふわふわ言葉で話す児童40%(29%)
 外で元気に運動する児童80%(72%)

**教育重点目標: しっかり聞く 正しく話す
 がんばりを認め合う
 最後までやりとげる**

教育重点目標の具体的方策

**(知)学習意欲の向上と
 基礎基本の定着**

- ・学習規律(学習の約束、姿勢)
- ・聞くこと(聞く話す書くを重視)
- ・反復学習(克己タイム、暗唱、漢字)
- ・補充学習(宿題、放課後学習)

(徳)自他を大切にする心の育成

- ・仲間づくり(学級、縦割り班)
- ・話し合い活動の充実(学級活動)
- ・美しい言葉遣い(ふわふわ言葉)
- ・読書(朝読書、隙間読書)
- ・道徳教育の充実

(体)仲間とともにやり抜く体作り

- ・自己目標(朝運動、持久走)
- ・仲間とやり遂げる目標
(リレー、チャレラン、縄跳び)
- ・基本的な生活習慣
(うがい手洗い、早寝早起き、朝ご飯)

めざす学校像

『笑顔があふれる学校』

- ①どの子にも居場所と活躍の場がある学校
- ②せいせいと自分の意見を発言でき、共に学び、共に高まる授業が展開できる学校
- ③地域に開かれ、信頼される学校

学校力(組織力)

- ・教職員評価制度の確かな運用による組織の活性化
- ・校内研修の充実による学び合う教師集団づくり
- ・地域人材の活用、授業・学校情報公開による開かれた学校づくりの推進
- ・安心・安全対策を見直し、子どもたちの安心・安全を確保
- ・校内特別支援委員会を定例化し特別な配慮が必要な子への対応を学校態勢で行う

学校経営方針

- ・教職員と児童が信頼関係で結ばれ、一人一人が確かな目標と自分への自信をもつことができる学校づくりに努める
- ・学びの楽しさに導く教材研究と子どものよさを引き出す児童理解の上に立った分かる授業を展開することにより学習意欲の向上と基礎学力の定着を図る
- ・あらゆる教育活動を通して教職員と児童・保護者・地域との信頼関係を構築する
- ・他につくした子の称揚
- ・特別支援教育は、特別な子に対する支援のみでなく、個が生きるための誰にも必要な指導と支援であるという認識で全教職員が主体的に取り組む
- ・道徳の時間を核として、教育活動全体で道徳教育を行う

めざす教師像

『信頼される先生』

- ① 教職への強い情熱と児童への深い愛情のある教師
- ② 授業で勝負できる教師(研究)
- ③ 豊かな人間性と社会性に満ちあふれる教師(修養)

教師力(指導力)

- ・自己目標を達成する中で教師としての資質の向上を図る
- ・自らの授業改善を進め、「笑顔あふれる授業」を実践する
- ・基礎基本の定着と言語に関する能力を高め、校内研修に積極的に参画する
- ・個人研修を積み重ね、研修を日常化する
- ・職能向上のための校外研修に積極的に参加する
- ・特別支援教育を通して、個に応じた指導を全児童にまで広める

短期経営数値目標(【 】内は年度)

- 定着度調査80点以上の増 国63%算75%(←国[22]53% [23]59% ・算[22]67% [23]68%)
- あいさつを元気よくしている「そう思う」70%(←[22]51% [23]65%)
- 学年目標の読書量達成80%(←[22]69% [23]65%)
- 早寝早起き93%(←[22]91% [23]92%)
- 学校のことを家の人に話す「そう思う」60%(←[22]44% [23]56%)